

令和2年度 第11回 政策調整会議 会議録

◆開催日時:令和2年11月24日(火) 16:00~16:20

◆開催場所:第2委員会室

◆出席委員:堤副市長、大下教育長、残総合政策部長、寒川総務部長、坂井財務部長、春木市民環境部長

◆審議事項

・岸和田市災害廃棄物処理計画の策定について……………廃棄物対策課⇒承認

◆審議概要

『岸和田市災害廃棄物処理計画の策定について』

〈説 明 者〉山本廃棄物対策課長、和田管理担当参事

◎付議依頼書に基づき説明

◎説明後、質疑応答

〈堤 副 市 長〉市の役割として、「仮置場の設置及び維持管理を行う」とあるが、具体的な想定をしておく必要がある。また、市民の役割と町会・自治会の役割を分けているが、便乗ごみの排出や一次集積所は関連してくるので、一体的に考え、その対策をしておかなければ現場が混乱する。事業者との協定は急ぐ必要があるが、清掃施設組合との連携や、周辺自治体との連携は具体的にどの範囲か。さらに、今回想定しているのは大規模災害であり、自衛隊の出勤など国・府との連携が必要となってくる。「他自治体との連携」という文言があるが、国・府も明記していた方がよいのでは。

〈廃棄物対策課長〉国・府との連携も想定しており、素案を確認し、盛り込んでいきたい。仮置場について、一定の基準を素案に記載している。仮置場の候補地については今後調査し、選定していきたい。また、府有地については、大阪府に働きかけながら候補地として選定していきたい。

〈堤 副 市 長〉具体的な時期の目処をつけて進めるように。

〈廃棄物対策課長〉なるべく早急に決定する。

〈教 育 長〉今後のスケジュールについて、計画策定期間はいつを予定しているか。

〈廃棄物対策課長〉審議会、パブリックコメントを経て、年度内を見込んでいる。大幅な変更があった場合にもできる限り年度内をめずす。

〈教 育 長〉市の役割で仮置場の設置があるが、市の施設について、所管課と調整は始めているか。

〈廃棄物対策課長〉大規模な公園や運動広場を想定しているため、災害時には協力いただけるよう各課に素案を確認いただき了承をいただいている。

〈教 育 長〉社会体育施設について見直しを行っているところだが、再編を行う際に、仮置場であるかどうかを考慮する必要はあるか。

〈廃棄物対策課長〉再編された場合には別の場所を選定するので必要ない。

〈総合政策部長〉計画の位置付けの図に「災害廃棄物処理基本計画」とあるが、タイトルには「基本」がない。
どちらが正しいか。

〈廃棄物対策課長〉「基本」は不要であるので、訂正する。

〈総合政策部長〉クリーンセンター内の仮置場について、平成 30 年度の台風 21 号で、関西国際空港へ続く橋が利用できなくなり、船でピストン運行したことがある。もし、クリーンセンターへの橋が利用できなくなった場合を想定し、船舶の会社と協定を結ぶことは考えているか。

〈廃棄物対策課長〉船舶の会社と協定を結ぶことはひとつ。もしくは、既に協定を結んでいる大栄環境ホールディングス株式会社が船を持っているのでそれを回してもらうことを想定している。

〈総合政策部長〉本案件について、今回出た意見を反映させたうえで、政策決定会議に諮ることとしてよい
か。

【異議なし】

⇒ 本件、原案を一部修正のうえ承認し、政策決定会議に付議する。

令和2年 11 月 17 日

政策調整会議付議依頼書

依頼者名 市民環境部長

下記事項について、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第 14 条の規定に基づき、下記のとおり付議を依頼します。

記

付議事項名	岸和田市災害廃棄物処理計画の策定について
付議の目的 (ポイントを絞り込んで、簡潔に記載すること。)	岸和田市災害廃棄物処理計画の審議会・パブコメに対する原案について
説明者	廃棄物対策課長 山本
	管理担当参事 和田
付議事項の概要	様式別紙に記載(必ず別紙様式をご提出ください。)

別紙

付議会議	令和2年度 第11回会議
付議事項	岸和田市災害廃棄物処理計画の策定について

★取組の目的

対象	災害廃棄物処理
どのような状態を目指す	災害廃棄物の円滑かつ適正な処理

★総合計画上の位置付け

107030102	基本目標	Iー7 豊かな自然を未来につなぐ
↑ここにコードを入力 (コードは「総計体系」を参照)	達成された姿	(3)地球環境への負荷が減っている
	目指す成果	①ごみの減量化・資源化が進んでいる
	行政の役割	イ ごみを適切に処理する

★現状と課題

・近年、全国各地で地震や大雨、台風等の大規模自然災害が多発している。
近い将来には岸和田市においても南海トラフ巨大地震、上町断層帯地震における最大震度6 弱～震度7の地震発生が想定されるなど、災害時の廃棄物処理が課題となっている。
・本市は、平成30年9月の台風第21号で、大量の災害廃棄物が発生した。

(単位:千円)

実施中の取組及び予定する事項		決算(見込額)		予算額	見込額				
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
財源内訳	国費								
	府費								
	起債								
	一般財源								
	その他								
事業費		計			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		0			0	0	0	0	0

★当該事項に関連する人員増の必要性※

人員増の必要性				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
有		無						

※災害廃棄物処理に伴う人員の確保

★取組の効果を表す指標

	指標名	単位	目標値							
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
①										
②										

※事業費及び人員を確約するものではない。